

日本赤外線学会誌 投稿規定

(日本赤外線学会誌 第18 巻1 号(2008) 49ページに掲載、その後一部修正)

本学会誌は日本赤外線学会が発行する和英混載誌で、赤外線に関する原著論文、解説記事および学会として必要な記事などを掲載する。投稿された論文等の掲載の可否は、査読者の意見に基づいて編集委員会で決定される。

1. 投稿者の資格

投稿者は原則として本会会員に限る。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

2. 原稿の種類

(1) 論文

区分	内容	制限頁数
研究論文	赤外線に関連した原著の研究報告で価値のあるもの	8
研究レター	原著論文で簡潔にまとめられた速報性の高いもの	3
総説	著者自身の研究を中心とする、その分野の進歩の総合的解説	10
技術ノート	赤外線に関する技術報告、装置や測定ノウハウ、データなどの簡潔な紹介	4

(2) その他

区分	内容	制限頁数
巻頭言	赤外線（または赤外線学会、赤外線学会誌）と社会などとの係わりや所感等	1
最近の展望	最近の進歩が著しい特定のテーマについての研究状況の解説	6
談話室	技術、研究、会員の動静、学会活動に関する随筆風小文	2
赤外線Q&A	赤外線に関する疑問とやさしい回答	1
国際会議報告	関連のある国際会議の内容などの紹介	3
製品紹介	会員にとって関心があると思われる赤外線関連機器の性能、特徴、応用などの紹介	1
会員紹介	新会員などの写真付自己紹介	1
研究室訪問	大学や企業の研究室の紹介	2
新刊紹介	赤外線に関する内外の出版物で、会員に興味のありそうな新刊本の紹介	0.5
会告	事務局より会員への連絡事項など	

上記規定の他、編集委員会の企画に応じた内容の記事を掲載することができる。

3. 投稿規定

(1) 著作権・出版権

「日本赤外線学会誌」に掲載された論文の著作権・出版権は日本赤外線学会に帰属する。「日本赤外線学会誌」に受理されたあとで、その論文の一部または全部をそのまま他の雑誌に転載しようとする場合、或いは他の雑誌に印刷された後でその論文の一部又は全部を「日本赤外線学会誌」に転載しようと

する場合には、「日本赤外線学会誌」編集委員会の承認を必要とする。またその論文が「日本赤外線学会誌」或いはその他の雑誌に掲載されたものであることを明記しなければならない。他文献を引用した場合、出版元への引用許可手続きは著者が行う。

「日本赤外線学会誌」に投稿中の原著論文と同一の論文を他の原著論文誌に投稿することはできない。また他の原著論文誌に投稿中または掲載済みの論文を「日本赤外線学会誌」に投稿することはできない。

紀要または所内誌的な性格の出版物、非原著論文誌などに投稿中または掲載済みの論文に重複した内容を持つ論文を「日本赤外線学会誌」に投稿しようとするときは、必ずその旨を明記し、原稿の写しまたはその別刷りを一部添付すること。

(2) 論文の作成

原稿の作成は「執筆要領」に従うこと。

(3) 投稿手続き

WORD版のテンプレートをダウンロードして、このワードファイルのフォーマットにしたがって原稿を作成するとともに、ワードファイルからpdfファイルも作成し、電子メールにワードファイルとpdfファイルを添付し、以下にある電子メールアドレスに送付すること。

小川 勇 福井大学 遠赤外領域開発研究センター
〒910-8507 福井市文京 3 丁目 9 番 1 号
電話 0776-27-8662、 Fax 0776-27-8770
ogawa@fir.u-fukui.ac.jp

(4) 受理

受理した論文は自主投稿、依頼にかかわらず、編集委員会は査読者を決めて査読を依頼する。編集委員会は査読報告に基づき、論文掲載の可否、或いは修正の要・不要を速やかに判断し、執筆者に通知する。

(5) 別刷り

別刷りを希望する場合は、著者校正時に別刷り申込用紙で申し込んでください。

(6) カラーページは有料で掲載可。カラーページ掲載を希望する場合は上記へ連絡してください。

以上